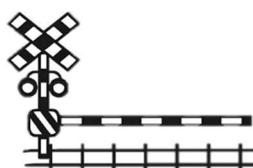


羽島市発達支援センター



ももだより



夏が近づくこの季節。蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは汗をいっぱいかきながらも夢中になって色々な遊びを楽しんでいます。5月、6月は親子公園遊び、フルーチェ作りを行いました。また、保護者向けの特別支援教育学習会や、家族で参加していただいた人形劇鑑賞会など、行事が盛りだくさんでした。今回は、その時の様子をお届けします！

AM 親子公園遊び

午前支援の一環として、市民の森公園で元気いっぱい遊びました。天気にも恵まれ、予定通り開催できました。子どもたちだけでなく、保護者と支援員の良い交流の場にもなりました。



PM フルーチェ作り

1週目は先生が作るのを見て試食。
2週目は自分で選んで持ってきたフルーチェでクッキングをしました。自分で作るフルーチェは特別な味がしたそうですよ。またうちでも作ってみてくださいね。



特別支援教育学習会

年長、年中の保護者の方を対象に、教育委員会の石田先生より、羽島市の特別支援教育のシステムについて説明をしていただきました。どのような支援が受けられるのか等、学びました。参加者の感想を紹介します。

「初めて聞きました。いろいろな選択肢があることがわかったり、勉強になりました。自分の子に適した学習の場を考えていきたいです。下の子を託児してもらえたので、集中して聞けてよかったです。」



人形劇鑑賞会

6月28日(土)、不二羽島文化センターにて行いました。今年度の演目はむすび座さんの「ぞうくんのさんぽ」「ペラがえる」2作品でした。参加者の感想を一部紹介します。

「ぞうくんのさんぽ」

・楽しい音楽に合わせてお話が進むため、見ている私たちも楽しく散歩しているような気分になりました。



「ペラがえる」

・おばあちゃん、子どもの人形がとてもリアルで現実っぽかったのもあり、すぐに子どもも話に入れたと思います。帰るときにも、一緒に写真を撮ってもらったり、パペットで遊んでもらえたので、最後まで楽しかったです。



お知らせ

- ・6月にノートの中にサーカスの割引券を入れさせていただきます。ぜひご利用ください。
- ・8月29日(金)は職員会の為、通常の支援はありません。ご了承ください。



みなさんご参加ありがとうございました。今後もいろいろな行事を予定しておりますので、楽しみにしててくださいね！